

第14回

クラウドサービスの利用で業務がスマートに変わる



Profile プロフィール

株式会社日立システムズ

営業統括本部 クラウド事業推進統括本部 クラウドサービス拡販本部 本部長

中田 龍二

1993年に日立システムズに入社以来、営業畑一筋。2013年からは、クラウドサービス拡販本部を立上げ、クラウドで驚きと感動を与えるべく邁進中。趣味のヨットでは国内外のレースに参戦する。

クラウドサービスとは？

これまで企業のIT化には、サーバや情報機器などのハードウェア、メールや会計ソフトなどのソフトウェアの導入が必要でした。一つひとつのサービスの導入にはコストと時間がかかり、運用・管理を含めると膨大な負担に。これらの負担の軽減に役立つのが、クラウドサービスです。

クラウドサービスとは簡単に言うと、情報資産を手元に残さずインターネット上に保存するサービスのこと。身近な例であれば、GmailやYahoo!メールなどのWebメール、ストレージなどもクラウドサービスです。

クラウドサービスのメリットとその可能性

主に、1.コスト削減、2.ビジネスのスピード化、3.業務効率化に効果を発揮します。ハードウェアやソフトウェアの導入・運用には専門知識が必要とされますが、そのために専任スタッフを雇うのでは経営コストを圧迫しかねません。その点、クラウドサービスであれば必要な機能・環境がパッケージ化されているため、専任スタッフでなくてもスムーズに導入でき、コスト削減やビジネスのスピード化につながります。また、導入後は、面倒な管理や保守もサービスの提供元に任せられ、手間を削減して本業に集中できます。さらには、インターネット環境があればいつでもどこでもサービスを利用できるので、業務効率化だけでなく、グローバル化に伴う業務拡大も見込めます。



こうしたメリットがあるにもかかわらず、セキュリティ面の懸念からクラウドサービスの利用を躊躇する経営者は多いです。クラウドサービスが稼働するデータセンターは、生体認証などの高度なセキュリティ機能を持つ設備や、もしもの時に備えた、予防・対策を行うセキュリティ技術の専門者を有しており、最近では金融系や公共系などでも、クラウドサービスを利用する例も増えています。手元に情報資産を残すということは、安心感がある反面、盗難や保守・管理の心配が常について回るといえること。ビジネスプロセスの改善も兼ねて、クラウドサービスの利用を検討してみたいかがでしょうか。